

松本市地域づくり推進交付金実績報告書

令和8年3月31日

（あて先）松本市長

（申請者） 和田地区地域づくり協議会

1 交付決定額

I	金 550,000 円
---	-------------

2 本年度実績の報告

(1) 本年度の交付金事業の報告

① 事業名：広報誌「わだのできごと」発行事業				
実施主体	和田地区地域づくり協議会（総務・広報部会）			
実施日（期間）	令和7年4月1日～令和8年3月31日			
実施場所	和田地区内			
事業概要	地域住民への情報共有と交流促進を目的として、広報誌を発行した。地域行事や防災情報、各種お知らせ等を掲載し、住民の関心と参加意識の向上を図った。編集にあたっては分かりやすさと親しみやすさを重視し、定期的な発行に努めた。今後も内容の充実を図り、地域のつながり強化に寄与していく。			
地域づくりの成果・効果	広報誌の発行により地域情報の共有が進み、行事への参加者増加や住民同士の交流促進につながった。また、防災意識の向上や地域への関心醸成にも一定の効果が見られた。			
課題	情報の偏りが課題である。継続的な情報発信をしていくため、今年度は他団体の情報を合体させて紙媒体の配付負担軽減を図った。引き続きデジタル活用も視野に進めていきたい。			
決算額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	44,551円	44,551円	0円	0円

a：本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額

b：前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額

c：この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名：健康講座・買い物支援事業				
実施主体	和田地区地域づくり協議会（福祉・健康部会）			
実施日（期間）	令和7年4月1日～令和8年3月31日			
実施場所	和田地区内			
事業概要	1 フレイル・介護予防の一環として、関係地区担当職員協力のもと、健康講座を開催し、必要な消耗品を購入した。 2 買い物弱者や高齢者からの要望を踏まえ、移動販売を実施するとともに、移動販売用備品及び消耗品を購入した。			

地域づくりの 成果・効果	フレイル・介護予防講座の開催により、健康意識の向上や生活習慣の見直しにつながった。また、移動販売の実施により、買い物弱者や高齢者の生活利便性の向上が図られるとともに、外出機会の創出や地域住民同士の交流促進にも寄与した。			
課 題	参加者が固定化する傾向があり、新たな参加者の掘り起こしが課題である。また、移動販売については利用者数の維持・拡大、運営体制の継続が課題となっている。さらに、事業の継続に向けては、地域住民や関係機関との連携強化が必要である。			
決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	30,619円	30,619円	0円	0円

③ 事業名：地域の風景カレンダー作成事業				
実 施 主 体	和田地区地域づくり協議会（子育て支援部会）			
実施日（期間）	令和7年7月1日～令和8年3月31日			
実 施 場 所	和田地区内			
事 業 概 要	地元の風景を次世代へ継承することを目的に、地域の景観を題材としたカレンダーを作成した。作成にあたっては、児童センターの子どもたちが地元の風景に色付けを行った作品を素材として活用し、地域資源と子どもたちの創造性を組み合わせた取り組みとした。			
地域づくりの 成果・効果	子どもたちが地域の風景に触れ、関心や愛着を深める機会となった。また、完成したカレンダーを通じて地域住民が身近な風景の魅力を再認識し、世代間の交流や地域への愛着の醸成につながった。			
課 題	継続的な事業実施に向けた制作体制の確保や、より多くの住民・子どもたちの参加促進が課題である。また、カレンダーの活用方法や配布範囲の工夫により、事業効果のさらなる向上が求められる。			
決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	58,300円	58,300円	0円	0円

④ 事業名：花卉栽培PR・環境整備事業				
実 施 主 体	和田地区地域づくり協議会（環境・振興部会）			
実施日（期間）	令和7年5月1日～令和8年3月31日			
実 施 場 所	和田地区内			
事 業 概 要	地区特産である花卉栽培のPRを目的に、各種イベントや行事において地元花卉の周知を行った。また、環境整備を推進するため、全町会で実施する三間沢川の一斉清掃作業への支援や、ふれあい花壇の整備を行い、地域住民主体の活動を支援した。			
地域づくりの 成果・効果	地元花卉のPRを通じて地域資源への理解と関心が高まり、地域の魅力発信につながった。また、河川清掃や花壇整備への参加により、環境美化意識の向上や地域住民同士の連携強化が図られ、「花のあるまち」としての景観形成と愛着の醸成に寄与した。			
課 題	活動の継続に向けた担い手の確保や参加者の拡大が課題である。また、花卉PRの効果を高めるための発信方法の工夫や、維持管理に係る負担軽減、関係団体とのさらなる連携強化が求められる。			
決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		

		a	b	c
	49,948円	49,948円	0円	0円

⑤ 事業名：指定避難所防災備品整備事業				
実施主体	和田地区地域づくり協議会（防災・安全部会）			
実施日（期間）	令和7年4月1日～令和8年3月31日			
実施場所	和田地区指定避難所			
事業概要	災害時に備え、指定避難所に必要な防災備品をあらかじめ整備した。また、地域住民が災害時に必要な物資について検討する機会を設け、防災意識の向上を図った。			
地域づくりの成果・効果	防災備品の整備により、災害時の受入体制の充実が図られ、地域の防災力向上につながった。また、住民自らが必要物資を考えることで、防災への関心が高まり、自助・共助の意識醸成に寄与した。			
課題	備品の維持管理や更新に係る体制整備が課題である。また、より多くの住民の参画を促し、実効性のある防災意識の定着につなげるとともに、訓練等を通じた活用機会の確保が求められる。			
決算額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	389,810円	327,408円	61,889円	513円

⑥ 事業名：地域資源活用ウォークラリー事業				
実施主体	和田地区地域づくり協議会（文化・教養部会）			
実施日（期間）	令和7年7月1日～令和8年3月31日			
実施場所	和田地区内			
事業概要	地域の歴史・文化・自然に触れながら学びと交流を図ることを目的に、ウォークラリーを実施した。各チェックポイントでは、地元にもつわるクイズを取り入れ、参加者が楽しみながら地域への理解を深められる機会を提供した。			
地域づくりの成果・効果	参加者が地域資源の魅力を再認識し、郷土への関心や愛着の向上につながった。また、世代を超えた交流の場が創出され、地域住民同士のつながりの強化に寄与した。			
課題	参加者の拡大や継続的な実施に向けた運営体制の確保が課題である。また、プログラム内容の充実や周知方法の工夫により、より多くの住民の参加を促進する必要がある。			
決算額	a + b + c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	30,000円	30,000円	0円	0円

決算額（計） （①+②+③）	A + B + C	財 源 内 訳		
		A	B	C
	603,228円	540,826円	61,889円	513円

a：本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額

b：前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額

c：この事業に充当したその他の財源の額

(2) 本年度の積立実績の報告
該当なし

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I - A - D	金	9, 1 7 4 円
-----------	---	------------

[参考]繰越上限額 = $I \times 2 / 10$